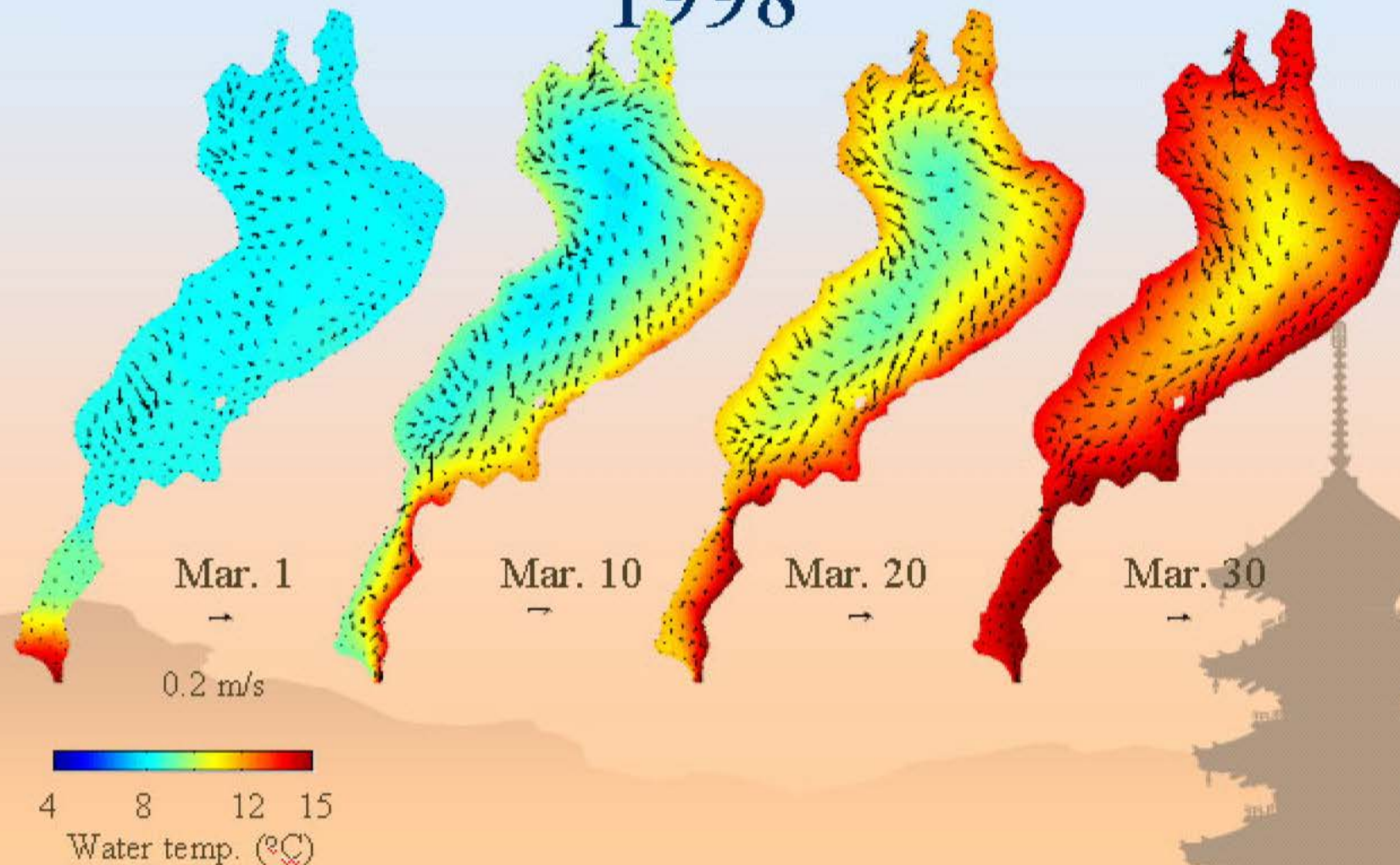


5. Development of current model

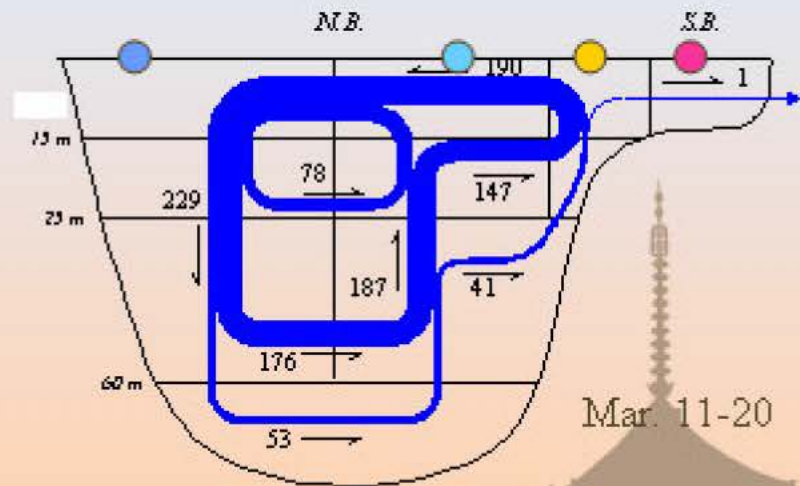
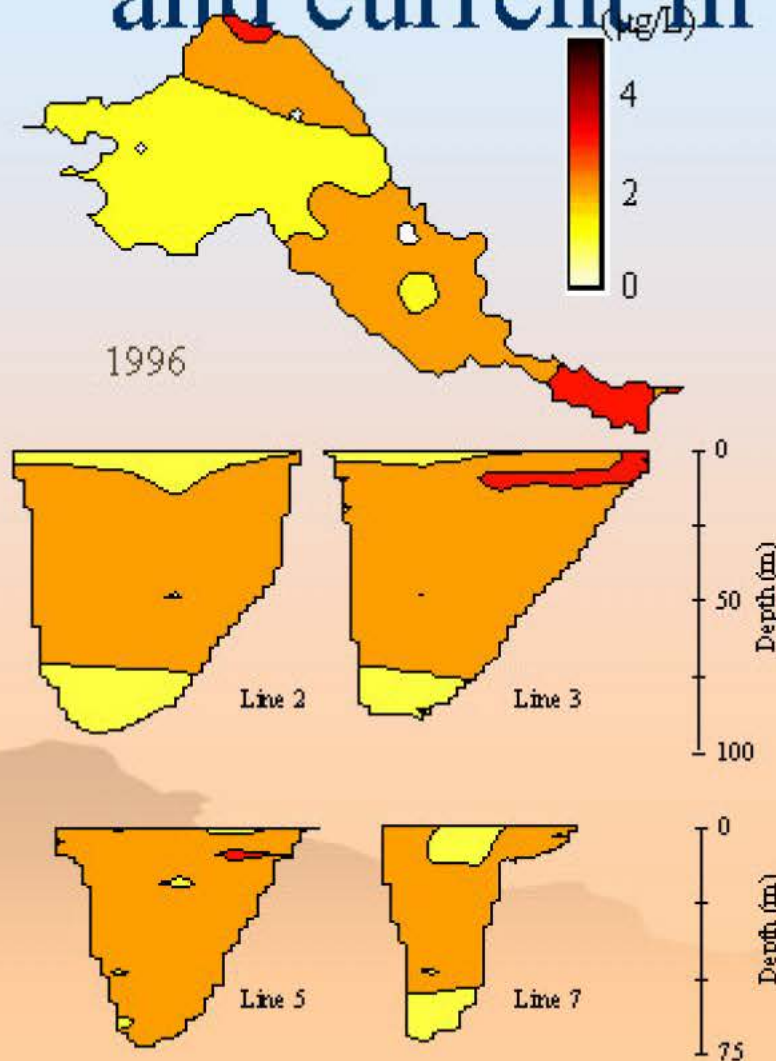
Velocity field and WT in March 1998



5. Development of current model



Distribution of Chl. a and current in the lake in 1996

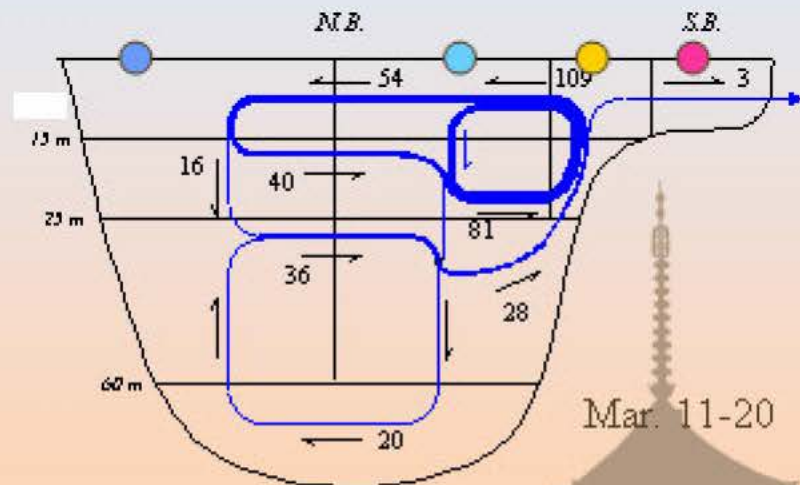
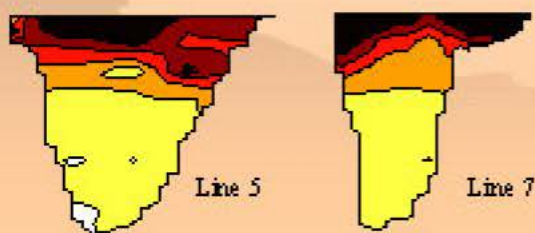
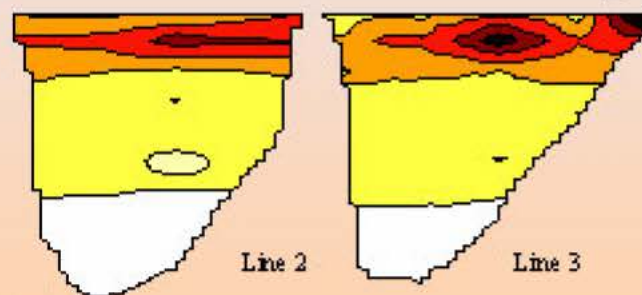
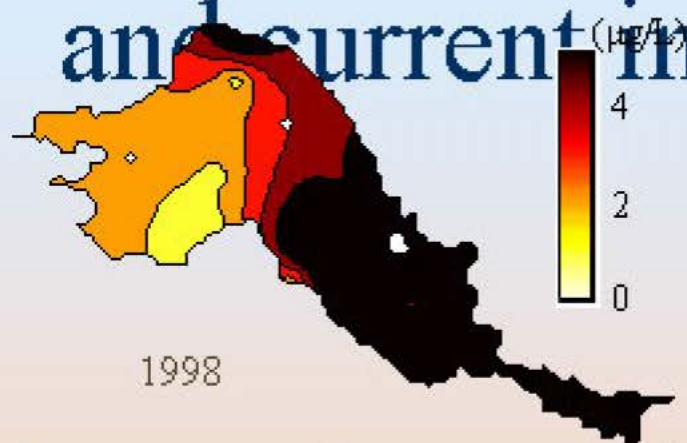


Current seemed to transported
phytoplankton to hypolimnion.

5. Development of current model

Distribution of Chl. a

and current in the lake in 1998



Phytoplankton could stay in surface layer.

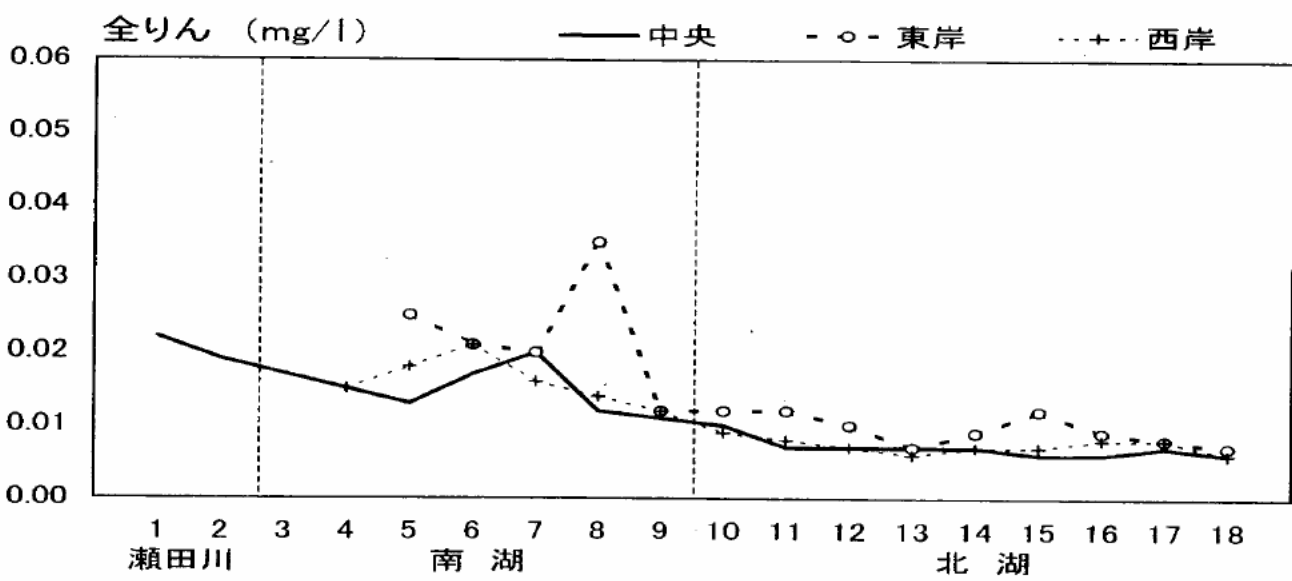
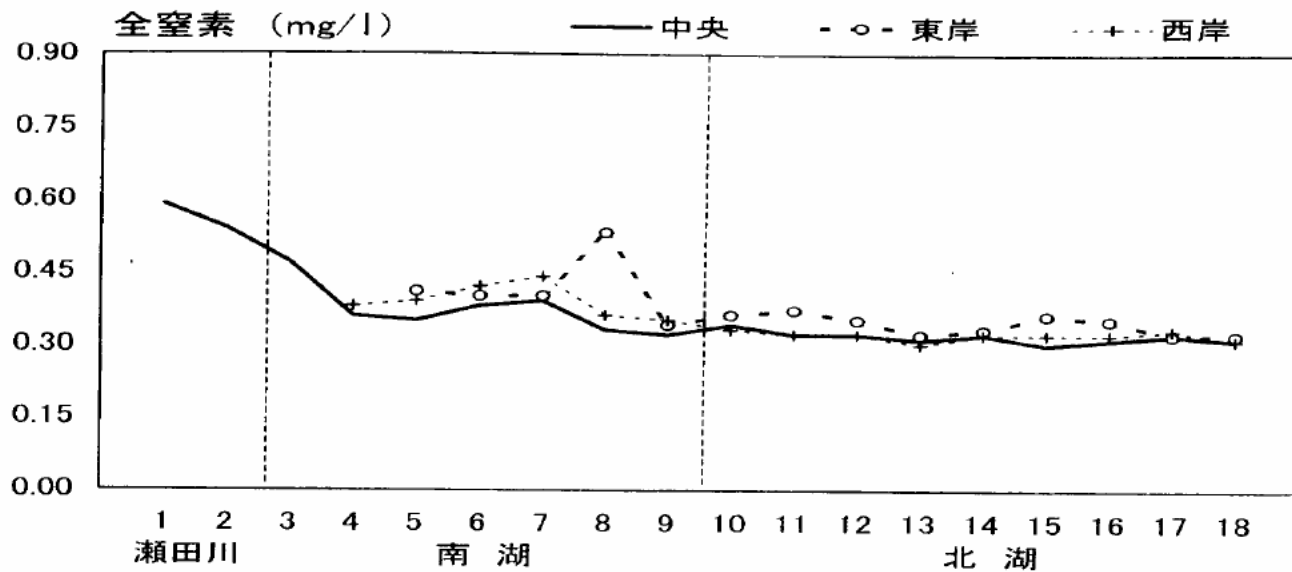
親水利用目的別の水質目標 親水等級と親水工法

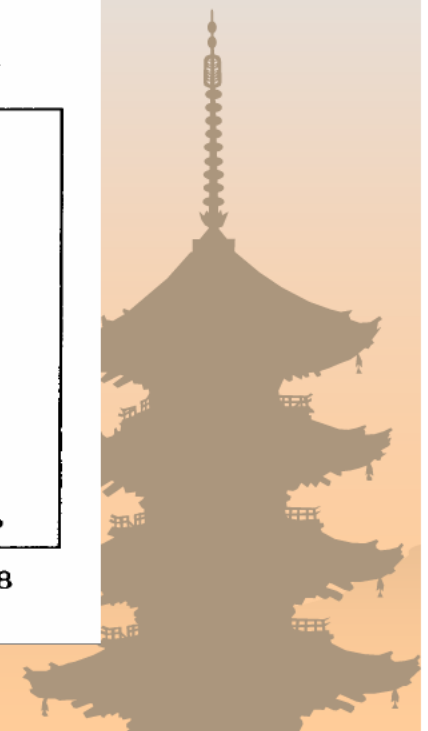
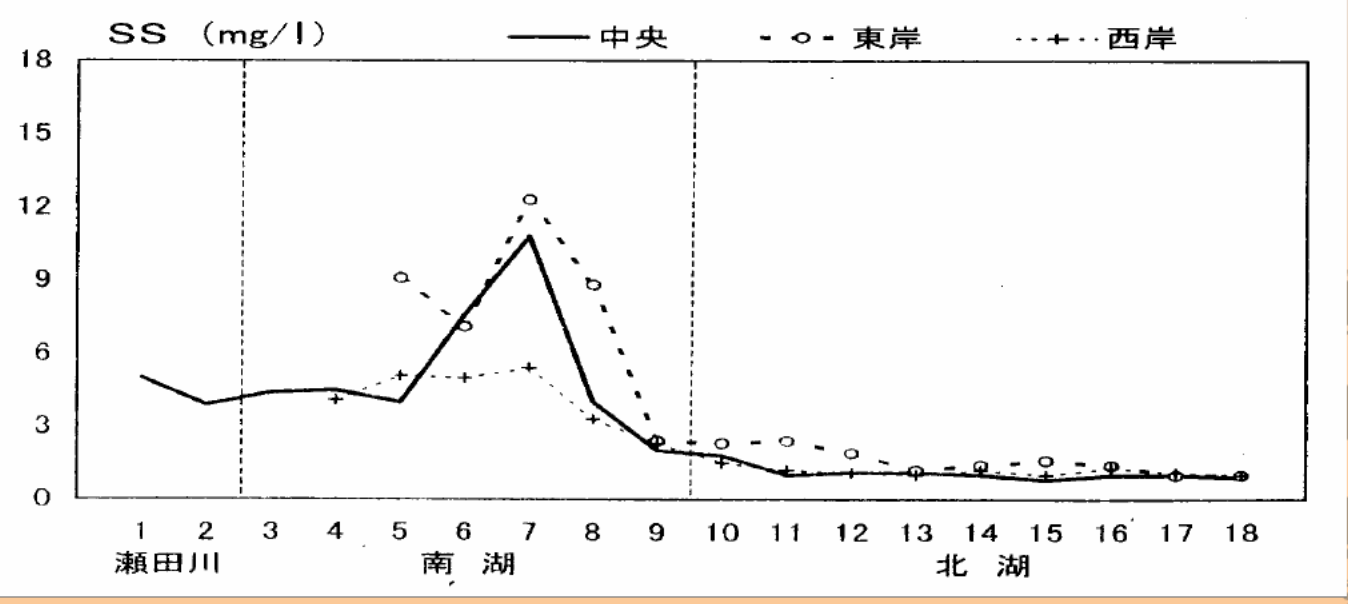
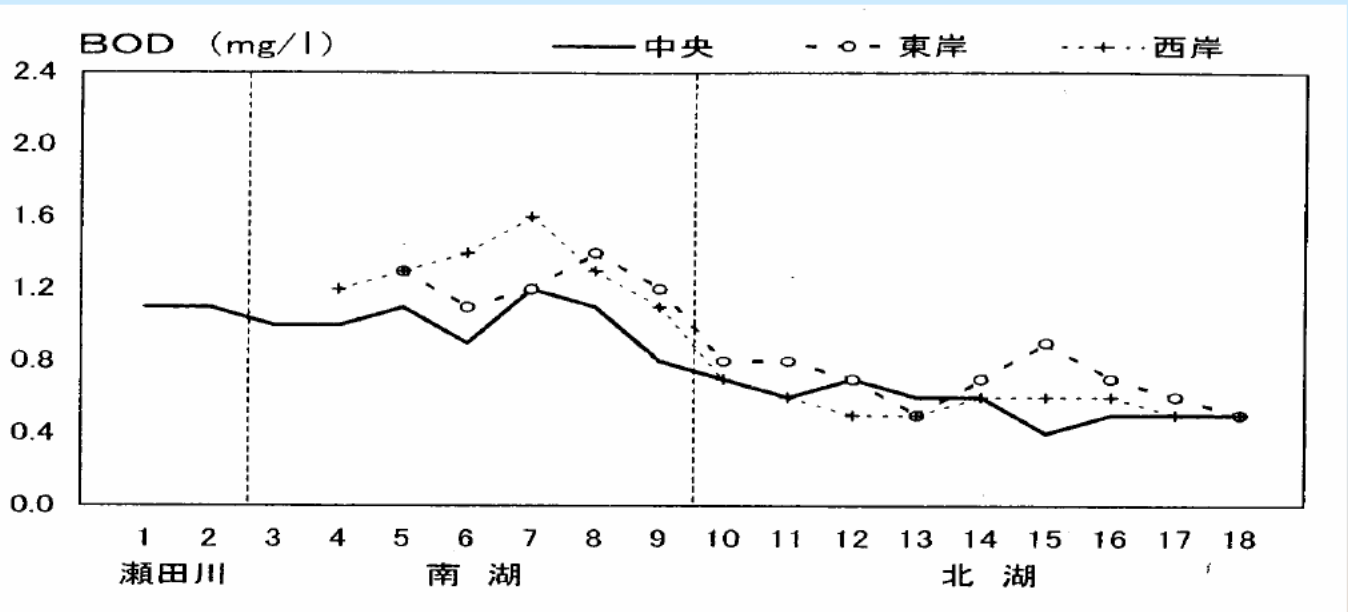
等級	親水利用目的の適応性	親水工法の適応性	基準値				
			pH	BOD (mg/L)	SS (mg/L)	DO (mg/L)	大腸菌群数 (MPN/100ml)
親水 A級	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境が保全される。 ・簡単な浄化で飲用可能 (水道1級及び2級) ・遊泳 ・遊魚(ヤマメ, イワナ等) ・ホタル 	<ul style="list-style-type: none"> ・可能な限り自然な溪流, 湧水, 水路等の形態を残す ・車による接近を禁止し, 遊歩道を整備する ・周辺の樹木を保全, 育成する 	6.5 ~ 8.5	1以下	25以下	7.5以上	50以下

(資料：昭和61年度広域農村排水システム検討調査報告書, (財)日本農業土木総合研究所)

親水B級	<ul style="list-style-type: none"> ・水辺の景観が保全される ・高度な浄化で飲用可能（水道3級） ・水浴 ・遊魚(ニジマス,アユ等) ・ホタル 	<ul style="list-style-type: none"> ・水路の側壁を空石積とする ・水路底を素堀にする ・せせらぎを設ける ・魚礁ブロック ・ホタルブロック ・安全な水遊びの空間を設ける ・側壁は敷砂利程度とする ・周辺の樹木を保全,育成する ・水路の歴史等を展示する 	6.5 ~ 8.5	3以下	25以下	7.5以上	5,000以下
親水C級	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺の景観が整えられる ・歴史文化的価値の保全 ・魚釣り(コイ,フナ等) ・ジョギング,サイクリングコース,遊歩道,イベント広場 	<ul style="list-style-type: none"> ・水路の側壁を空石積又は練石張とする ・水路底をコンクリート砕捨石敷とする ・せせらぎを設ける ・魚礁ブロック ・側壁は利用に応じた工法をとる ・周辺の樹木を保全,育成する ・水路の歴史等を展示する 	6.5 ~ 8.5	5以下	50以下	5以上	25,000以下
親水D級	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺の景観が整えられる ・歴史文化的価値の保全 ・観賞用のコイ,フナ,水鳥 ・遊歩道,イベント広場 	<ul style="list-style-type: none"> ・水路の側壁を練石張とする ・水路底を練石張とする ・魚礁ブロック ・側壁は利用に応じた工法をとる ・周辺の樹木を保全,育成する ・水路の歴史等を展示する 	6.5 ~ 8.5	10以下	ゴミの浮遊物が認められないこと	2以上	







(9) 透明度、BOD、COD、SS、全窒素および全りんの平面分布

